



## 環境緑地科 緑地工学コースが先端技術講演会を開催しました。

**目的** 森林生態系への理解から、森林・林業の必要性を学び、関係する授業への意欲を高め、授業への取組を充実させる。

**日時** 平成30年2月28日(水) 9時00分～10時50分

**講師** 新潟大学 農学部 教授 箕口 秀夫 様

**場所** 新潟県立加茂農林高等学校 視聴覚教室

**対象生徒** 緑地工学コース 2年生19名、1年生19名

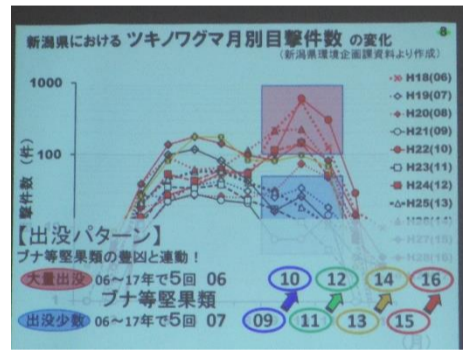
**実施内容** 講演題目

「クマが私たちに教えてくれること、動物の暮らす森と人間の関わり」



講演の様子1

**成果** パワーポイントの作りそのものや、適宜動画が組み込まれていたことで、生徒が引き込まれ授業に参加していた。今後の授業での基礎的な知識につながるとともに森林・林業に関心を持たせる機会となった。また、課題の発掘や取組の方法についても考えさせられる授業であった。



講演会の様子2

**生徒の感想** 私たちの土地利用が変わったことで、野生動物の生活にも変化が起きたことがわかった。森林管理をしっかりとすることが、森林の保護やそこで生活する生物の豊かさにつながるということがわかった。

**講師からの助言** 野生動物の生態と周囲の環境調査から近年問題となっている有害鳥獣被害の予測や対策が可能である。しかしながら対策は一時的なものであり、大切なことは野生動物の視点に立ち、人間との共存方法を目指すことである。

**今後の課題** 地域が持つ課題を解決するだけでなく、その分野として懸念される課題についても取組を進める必要があることを学んだ。学校のフィールドを十分に利用するとともに関係機関との連携を広げていく必要がある。